



保育の仕事

保護者と共に子ども達を守り、育てる子育てのパートナー

子ども達が健やかに成長するよう、守り育てる「保育士」という職業があります。保育士は、保護者と一緒に、子ども達が生活習慣を学び、身につけられるように養護と教育を行います。保育士の他にも、児童館などで音楽や図工の会といったイベントなどを行い、遊びを通じて子ども達の成長を支援する児童厚生員という職業もあります。どちらも子ども達を支援するだけではなく、保護者に対して子育てに関するアドバイスや指導を行います。

職種紹介

保育士

他の子ども達と関わることで食事やトイレ・睡眠などの生活習慣を身につけさせたり、遊びを通して集団生活を身につけるサポートをしたりします。

主な活躍の場

保育所、乳児院、児童養護施設、障害児施設

必要な資格

保育士

放課後児童支援員

市町村が設置する放課後児童クラブにおいて、子どもが安心して過ごせる生活の場を与え、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように支援を行います。保護者が安心して子育てと仕事を両立できるよう支援することや、学校等との関係機関と連携することも必要です。

主な活躍の場

放課後児童クラブ

必要な資格

放課後児童支援員

子育て支援員

保育所、小規模保育、一時預かりなどで、保育士をサポートする保育補助の仕事を行います。保育や子育て支援などの仕事に関心を持ち、一定の研修を受講することで、子育て支援員の資格が取得できます。年齢制限もありません。

主な活躍の場

保育所、小規模保育(保育ママ)、一時預かり施設、地域子育て支援拠点 など

必要な資格

子育て支援員

児童厚生員

(児童の遊びを指導する者)

「児童の遊びを指導する者」は、児童館等で遊びを中心とした指導を行い、地域の子ども達が健やかに育つよう、サポートする仕事です。施設でレクリエーションを行うほか、児童館を利用する子どもが地域住民と交流できる機会を設けるなど、地域全体で健全育成を進める環境づくりを行っています。

主な活躍の場

児童館

必要な資格

保育士 社会福祉士
 幼小中高の教員免許など